

製品名: FOXA2 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM80764**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|---|
| 説明 | マウスモノクローナル抗体 |
| 宿主 | ねずみ |
| 応用 | WB,IHC,ELISA |
| 反応性 | 人間 |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | Mouse IgG1 |
| クローン性 | モノクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|---|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000 |
| 分子量 | 48kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|------------------------------|
| 遺伝子名 | FOXA2 |
| 別名 | HNF3B; TCF3B; MGC19807 |
| 遺伝子 ID | 3170.0 |
| SwissProt ID | Q9Y261 |
| 免疫原 | 大腸菌で発現した FOXA2 の精製された組み換え断片。 |

背景

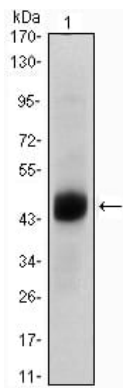
FOXA2 (フォークヘッドボックス A2) は、HNF3B (肝細胞核因子 3β) としても知られています。フォークヘッド型 DNA 結合タンパク質の一種です。これらの肝細胞核因子は、アルブミンやトランスサイレチンといった肝臓特異的遺伝子の転写活性化因子であ

り、クロマチンとも相互作用します。マウスにおける同様のファミリーメンバーは、代謝調節や膵臓および肝臓の分化に関与しています。FOXA2は、若年成人発症型糖尿病の散発例との関連が指摘されています。FOXA2には、異なるアイソフォームをコードする転写バリエーションが同定されています。

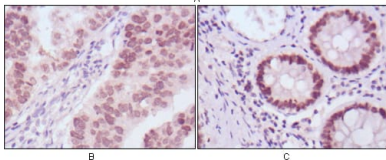
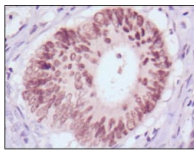
研究分野

-

画像データ



A549 (1) 細胞溶解物に対する FOXA2 マウス mAb を用いたウエスタンブロット解析。



DAB 染色による FOXA2 マウス mAb を使用した、パラフィン包埋ヒト大腸癌 (A)、胃癌 (B)、直腸癌 (C) 組織の免疫組織化学分析。